

TOHATSU

PARTNER

2014年8月1日発行 / 夏号

VOL.93



Photo: のとマリンフェスタのようす

CONTENTS

- | | | | |
|----------------------|----|--------------------------|-----|
| ●社長就任ご挨拶 | P2 | ●トーハツポンプ中央会サービス研修会 | P6 |
| ●金子会長春の黄綬褒章を受章 | P3 | ●東北トーハツポンプセールス研修会 | P6 |
| ●消防機器等関係者表彰 | P3 | ●九州・関西トーハツポンプ会開催 | P6 |
| ●日本自動車車体工業会で優良従業員表彰 | P3 | ●東北トーハツポンプ会春季総会開催 | P7 |
| ●日本消防ポンプ協会功労者表彰 | P3 | ●ボー研隊「第21回世界キス釣り大会」 | P7 |
| ●富山県日本海マリンで初納艇 | P4 | ●災害に備えて | P7 |
| ●のとマリンフェスタ開催 | P4 | ●マリン東北、マリン関東 新商品発表会 | P7 |
| ●福岡県いわき地区にて試乗会 | P4 | ●平成26年トーハツポンプ特約販売店全国大会開催 | 裏表紙 |
| ●熊本と新潟で2014 ポートショー開催 | P5 | ●青森県三戸町消防団様が駒ヶ根工場見学 | 裏表紙 |
| ●トーハツポンプサービス研修会 | P6 | ●福島県柳津町へVFシリーズを一括納入 | 裏表紙 |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

社長就任ご挨拶



トーハツ株式会社
代表取締役社長 日向 勇美

盛夏の候、皆様方におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る6月27日開催の弊社定時株主総会、その後の取締役会を経て、この度、取締役社長に就任致しました。宜しく御願ひ申し上げます。

トーハツ株式会社は2022年に創業100周年を迎えます。

創業の原点でもある「社会貢献」という企業理念のもと、当社はマリン事業と防災事業を主たるビジネスとして展開しております。その中でも当社の主力製品である船外機、可搬消防ポンプは、当社が日本で初めて開発、生産した、謂わば両分野のパイオニア的存在であり、当社の誇りでもあります。この誇りを何時までも忘れずに、更に50年、100年、そして永遠に継続し、成長していくためにも、強固な礎を創業100周年までの間にしっかり築き上げて行きたいと思ひます。

グローバル化の進展に伴い、企業を取り巻く経営環境は絶えず変化し続け、その動きは益々加速しております。当社もその波に決して乗り遅れること無く、マリン、防災事業共に商品ラインナップの充実、販売ネットワークの拡充、更なるグローバル化を念頭に置き、これからもスピードを以って、事業拡大に果敢にチャレンジして参ります。

その一端として、多様化するニーズに応え、マリン事業では、今年より40/50馬力4ストローク船外機を新たに発売した他、国内向けには当社ブランドに拠るOEM製品として75馬力、90馬力及び150馬力4ストローク、又海外向けには60~250馬力4ストローク船外機も合わせて発売を開始したところで有ります。一方、防災事業では、環境に優しい4ストロークの可搬式ポンプに自動中継機能を付加したVF63AS-Rを新たに発売致しました。これからも安全・安心はもとより、環境保全に適応する製品や技術の創出・普及にも積極的に取り組んで参ります。そして、トーハツグループで共に働く全員が力を合わせ、新しい可能性への挑戦を続けて行きます。

今後共、皆様方のより一層の御支援、御協力を賜ります様、宜しく御願ひ申し上げます。

金子会長 平成26年 春の黄綬褒章を受章



平成26年、春の消防関係者褒章伝達式が5月16日（金）11時15分からスクワール麴町において上岡総務副大臣、大石消防庁長官はじめ来賓として多数の消防関係者が出席され盛大に開催されました。消防関係者の黄綬褒章受章としてトーハツ（株）会長（受章当日は代表取締役社長）の金子満氏とその荣誉に輝きました。

この賞は、「業務に精励し衆民の模範たるべき方」に授与されるもので永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災から守るとともに消防力の充実強化に尽力され消防の発展及び社会公共福祉の増進に貢献された金子氏に天皇陛下から授与された名誉ある褒章です。

金子氏は昭和46年トーハツ（株）に入社、管理部門の中核部門に在籍し平成18年に代表取締役社長に就任、翌年にはポンプ協会副会長に就任、平成23年には同会長となり参加各企業の融和を図り運営を円滑にするともに消防業界の健全な発展に貢献致しました。また社内では製造基盤の拡充のため東京、岡谷、埼玉にあった工場を駒ヶ根に集約しました。環境に配慮した4ストローク可搬消防ポンプの製品化、海外への可搬消防ポンプの普及展開にも力を注ぎ、日本国内だけでなく海外にも安全安心を提供されました。

この受章はご本人の業務精励はもちろんですが、家庭をささえてきた奥様のご奮励が有ったからこそと考えます。伝達式閉式後に、奥様同伴で皇居にて天皇陛下へのご拝謁も行われました。

今回の黄綬褒章受章には日本消防機器協会からは弊社香川県特約販売店、（株）福島商会の福島昭子氏、（株）コーアツの山田信夫氏も受賞されました。心から、お祝い申し上げます。

金子氏につきましては今後ともトーハツ（株）の会長及び日本消防ポンプ協会の会長として消防業界の発展に貢献頂けるよう祈念申し上げます。（防災営業部）

平成26年度 消防機器等関係者表彰



写真左から金子会長、松原工場長、廣瀬常務

平成26年度消防機器等関係者表彰が、去る5月29日（木）、東京麴町にあるスクワール麴町で行われ、長野ポンプ（株）代表取締役社長 長野幸浩氏、（株）福岡トーハツ 代表取締役社長 澤田守雄氏、トーハツ（株）駒ヶ根工場長 松原一行氏の3名がこの荣誉なる表彰を受賞されました。

表彰式には、この賞を主催する全国消防機器協会の関係者はもとより、消防庁長官、日本消防検定協会 理事長、日本消防設備安全センター 理事長などの他、多数の消防関係者や業界関係者が出席され、盛大且つ静粛に執り行われました。

表彰式後の記念撮影では、和やかにフラッシュを浴びていました。

この度の受賞、誠にありがとうございます。（防災営業部）

日本自動車車体工業会で 優良従業員表彰



去る、5月23日（金）品川、グランドプリンス高輪で一般社団法人日本自動車車体工業会主催の2014年度総会において、桑澤克彦氏が優良従業員表彰を受けました。日頃、消防車両への技術提案、サポートなどの功績が評価されての受賞となりました。

この賞は（一社）日本自動車車体工業会の数多くの会員各社の中から選考され、8名が受賞されたものです。

受賞された皆様、本当におめでとうございます。

（防災営業部／志津川）

日本消防ポンプ協会 平成26年度功労者表彰 トーハツ（株）の古谷氏、高橋氏、遠藤氏がめでたく受賞



写真左から古谷氏、金子会長、小山顧問、遠藤氏、高橋氏

一般社団法人日本消防ポンプ協会の定期総会とそれに伴う平成26年度の功労者表彰が去る5月21日（水）に消防業界関係者多数出席のもと東京信濃町の明治記念館にて行われました。

この荣誉ある功労者表彰にトーハツ（株）からは、駒ヶ根工場生産管理課課長の古谷孝太氏、防災営業部防災課防災中央主任の高橋俊一氏と技術部実験2課の遠藤康彦氏の3名が受賞されました。この3名は、消防ポンプをはじめとする防災機器業界の発展に寄与された功労が認められての受賞です。今後も消防業界発展のために大いに尽力して頂きたいと思っております。

この度受賞されました古谷孝太氏、高橋俊一氏、遠藤康彦氏には心よりお祝い申し上げます。

（防災中央／小鷹）

富山県日本海マリンでTFW-17R (MFS50Aセット艇)初納艇

去る6月14日(土)・15日(日)、富山県サービスパイロット店の日本海マリン「城光寺マリーナ」で初夏の試乗会が開催されました。

今回の試乗艇は根強い人気のTF-250SCへ新型エンジンBFT-150Aを搭載させた新セット艇。

そのパワフルな走破性は試乗されたユーザー様からも高評価を頂きました。

当日は天候にも恵まれ、会場では地元ラジオ局の生トークショーにも出演する等、会場は活気に沸き盛り上がりしました。

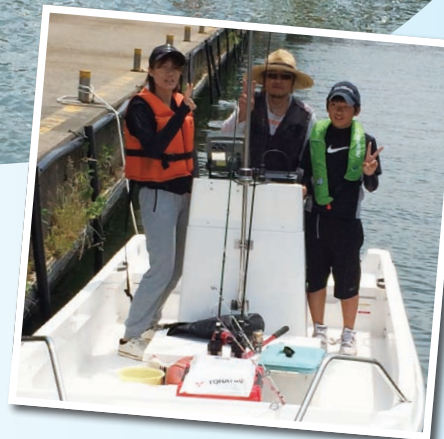
富山湾は表層を流れる暖かい対馬暖流と、水深300m以下の冷たい日本海固有水(深層水)により、暖流系と冷水系の双方の魚が生息できる珍しい環境です。富山湾には、北アルプスの山々から豊富な酸素と栄養分が供給され、富山湾には日本海に分布する約800種のうち約500種以上の魚が生息する水産資源の宝庫です。『県のさかな』に指定される、ブリ、ホタルイカ、シロエビを筆頭に、四季を通じて豊かな海の幸に恵まれています。そんな好漁場での釣りは当然プレジャー層を魅了し、四季を通じた魚種が狙えます。

そんな中、6月15日(日)試乗会当日にTFW-17R(MFS50A)セット艇の納艇式が行われました。この度、お買い上げ頂きましたオーナーさんは地元で新鮮な魚介類を提供する居酒屋さんです。

オーナーさんへ話を伺ったところ『家族3名で釣りを楽しむには、この程度の大きさがお手頃』と笑顔で話してくれました。スタッフから取扱い説明を受けた後、釣竿、クーラー、タモを積込み家族で沖に向かわれました。スタッフ一同、大漁、安全を祈願した次第です。

ご協力頂きました関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

(マリン中部/山中)



のとマリンフェスタ開催

去る6月21日(土)・22日(日)、石川県パイロット店の椿崎マリン向社長が実行委員長となり、のとマリンフェスタが行われました。

マリンフェスタは今年で第6回を迎え、海をフィールドとしているたくさんの業種や人が集まって、海を上手にシェアリングしながら安全で豊かで楽しい海を作るためのイベントです。当日は、プレジャーボートの試乗のほか、船外機及び各種用品の展示のほか、ヨットセーリングやカヤック講習、その他様々な露店が軒を並べ来場者でにぎわいました。

マリンフェスタが行われた会場は穏やかな七尾湾。能登島を望む西岸地区で行われました。暖流と寒流が交差する七尾湾及びその近郊の海は、魚影も濃く一年を通じて様々な魚種が期待でき、定置網やカキの養殖など魚の宝庫となっているため、漁業ユーザーが多く、一方、その豊富な魚種を狙ってレジャーユーザーにも親しまれている地区です。イルカウォッチングも盛んで、トーハツ船外機が利用されています。

今回、船舶免許無しでも手軽に利用できるMFS2Bをインフレーターボートにセット。パワフルな走りと操作性が魅力です。その機動性と沖での釣果を魅力と考えたアングラー達や会場に遊びに来られた親子連れにも大人気で、湾内の試乗を楽しまれていました。

また、展示機には熱心なユーザーの質問も多くあり、能登の魅力ある海の発展とこれからのマリンレジャーの拡大に期待が持て、第7回のマリンフェスタ開催が今から楽しみといえるイベントとなりました。

日頃より、トーハツ船外機販売にご尽力いただいている向社長並びに運営に関わられたスタッフの方々に心より感謝し、お礼申し上げます。(マリン営業部/大坪)



福島県いわき地区にて試乗会

6月21日(土)・22日(日)の2日間、福島県いわき地区にて当社販売店のマリンサービスいわき様の協力をいただき、試乗会を開催しました。試乗艇には、不動の人気を誇るTF-250SCを準備。震災後、港の復興も進んできており、今後のレジャー市場の活性化が期待できます。

初日は、雨は降らなかったものの、沖に靄がかかり視界不良。2日目は梅雨の影響で小雨まじりの決して良いとは言えない状況下、2日間を通じて熱心なポートファン13組24名の来場をいただきました。期間中、「是非、前向きに検討したい!」と嬉しい言葉が飛び出す場面も。

今回の試乗会は、昨年に続き2回目の開催となり、当社のボートをPRする絶好の機会となっております。今後も東北の海の素晴らしさ、楽しさを思い出していだく良き場となる様、継続的に開催していきたいと思っております。マリンサービスいわき様のご協力に厚く御礼申し上げます。

(マリン東北/木村)



2014熊本ボートショー



5月の17日(土)、18日(日)の2日間、熊本新港特設会場で2014熊本ボートショーが開催されました。今年で5度目の開催となります。26社4団体1組合が出展、新艇も20隻を超える展示数で、今年からは子供向けのイベントも開催されました。さすがは海の幸が豊かな天草を抱える熊本です。天候にも恵まれ1800名近い来場者となり大盛況のイベントとなりました。

当社は地元の販売店である大矢野マリーナ様とプロショップケン様の協力を仰ぎながらTF-21STとTFW-17Rの2隻を展示。両モデル共に新発売となったMFS50Aを搭載し、また釣りに特化し手軽な価格帯とあってアピール度は満点。大きく注目を集め、今後の熊本の市場に期待の出来るイベントとなりました。

ご協力頂いた大矢野マリーナ様、プロショップケン様には紙上より厚くお礼申し上げます。
(マリン九州/福松)

2014ボートショー開催

2014新潟ボートショー



今年の新潟ボートショーは5月31日(土)・6月1日(日)の2日間、初めての試みとなる試乗会形式にて開催されました。前日のラジオ放送やテレビでの告知などもあり、たくさんのお客様が来場し、お目当てのボートの走りを確かめていました。

トーハツはTF-250SCに4ストローク150馬力のセット艇とTFW-25Rに4ストローク90馬力セット艇の2艇で試乗と、4ストローク船外機の25馬力、50馬力の2機種を展示。天候にも恵まれ、心地良いクルージング日和の中、乗り味や使い勝手を確認して頂くことができました。どちらの船もデッキの広さが魅力であり、釣りにはもってこいの高評価を頂きました。また、今年からラインナップに加わった4ストローク高馬力モデルをセットしての試乗とあり、走りを感じたいというお客様が多く、関心の高さを伺うことが出来ました。

期間中御協力頂きました(株)マリン商事様に厚く御礼申し上げます。(マリン課/石丸)

● 平成26年度 トーハツポンプサービス研修会

「平成26年度トーハツポンプサービス研修会」が6月9日（月）～13日（金）の5日間に渡り、駒ヶ根工場にて開催されました。今回は全国ブロック9社の販売店から計11名の研修生の参加により行われました。

通常行われる1日の研修会に比べ5日間の研修会ということもあり、内容も操法・中継体験に始まり、VF/VCのトラブルシューティング、分解・組立と、幅広い内容で行われました。又、研修生のレベルも年々変化していることもあり、昨年実施したトラブルシューティング事例を一部変更して実施いたしました。

研修会は、よりポンプに深く接していただき理解を更に深めていただく為、2～3名の小グループ4班に分けて行われました。各グループにおきましては全員が真剣に取り組んでおり、有意義な研修であったものと思われまふ。この中で、ベテランの方が他の研修生に対し真剣に教えている姿がとても印象的でした。

研修を終えて皆さん「非常に勉強になった！」との感想がある一方、次回からの研修会は「今回とは異なる内容の研修会を行って欲しい」との声もあり、今後はこれらの貴重なご意見を踏まえ、より充実した研修会にしたいと思いますので、ぜひ次回もご参加頂けたら幸いです。

この度は研修会にご参加頂きました販売店の皆様、ならびに関係部署の方々のご協力をいただき誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。
また、今回参加していただいた研修生のみなさん、大変お疲れ様でした。（サービス室/新井）



● 平成26年度トーハツポンプ中央会サービス研修会

弊社主催による「平成26年度トーハツポンプ中央会セールス研修会」が去る5月23日、温井自動車工業（株）にて開催され、今回中央ブロック8社の販売店より計17名の研修生が参加して行われました。

1日だけの短い研修会ということもあり、VF/VCのトラブルシューティング主体の内容で行われました。年々、研修生のレベルも上がっていることから、トラブルシューティング内容の一部を変更（難易度をUP！）して実施。上級グループのみなさんは、慣れているためトラブル解決に要する時間も短く、時間が余るほどに…。また、初級グループのみなさんは上級グループほど速くはありませんが、「トラブルを解決したい！」という熱心がひしひしと伝わってきました。

短い期間でありながらも中身の濃い研修会は無事に終わりの閉幕となりました。年々、研修生のレベルが上がっているため、今後は、研修会の内容の見直しを図り、他モデルについての研修も視野に入れ内容の濃いものへと変化させていきたいと思っておりますので、ぜひ次回からもご参加頂けたら幸いです。

研修会開催にあたり会場をお貸し頂きました温井自動車工業（株）様、誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。
また、この度、参加いただいた研修生のみなさん、大変お疲れ様でした。（サービス室/新井）

● 平成26年度東北トーハツポンプセールス研修会

弊社主催による「平成26年度東北トーハツポンプセールス研修会」が去る5月15日（木）、16日（金）の2日間に渡り、（有）古川ポンプ製作所の師山工場にて開催され、今回東北ブロック11社の販売店より計36名の研修生が参加して行われました。

2日間の短い研修会ということもあり、VF/VCのトラブルシューティング主体の内容で行われ、さらに研修生のレベルも年々変化していることから、上級、中級、初級グループに分けて行われました。さらに今回は、ポンプ経験の浅い方たちを対象とした“初心者”向けの研修も別途実施しました。

上級グループのみなさんは、さすが上級生！！次々とトラブルを発見していき時間も余るほどに…。また、初級グループのみなさんも時間はかかりましたが、真剣に楽しく受けられていたのが印象的でした。

短い期間でありながらも中身の濃い研修会は無事に終わりの閉幕となりました。今後は随時、他モデルについての研修も行っていきたいと思っておりますのでぜひ次回からもご参加頂けたら幸いです。

研修会開催にあたり会場をお貸し頂きました（有）古川ポンプ製作所の師山工場様、誠にありがとうございました。昨年3月より5S活動に尽力されてこれ、会場内は整理整頓されている中で気持ちよく研修会を行うことができました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。

また、この度参加いただいた研修生のみなさん、大変お疲れ様でした。（サービス室/新井）



平成26年度 九州・山口 トーハツポンプ会総会開催



平成26年度九州・山口トーハツポンプ会総会が、去る5月26日（月）・27日（火）の両日に、福岡市のホテル「ホテルオークラ福岡」で開催されました。総会前に駐車場のトラブルが発生しましたが無事定刻よりスタート。

総会は、トーハツ小山取締役の挨拶でスタート。続いて同ポンプ会の西銘会長が挨拶を行い全国特約販売店の御礼と旭日双光章授賞のお祝いの御礼を述べられました。

そして役員改選を行い、新会長に（株）福岡トーハツ 澤田社長、副会長に（有）藤中ポンプ店 藤中社長、監事（株）にサガハツ浦井社長が就任し新体制になりました。

質疑応答では、他社の4サイクルポンプに関する意見交換や今後のトーハツポンプの商品開発について熱い意見交換が行われ閉会しました。懇親会では和やかなムードで歓談。親交を深めていました。

翌日は小郡カンツリークラブでゴルフを行い日頃の疲れを癒しました。会員の皆様には、遠路御出席を賜り誠にありがとうございました。（防災九州/田中）

平成26年度 関西トーハツポンプ会開催



全国会の開催に合わせて、平成26年4月18日（金）に伊東市の坐漁荘にて関西トーハツポンプ会が開催されました。

今年から新しく高知県の（株）藤島様と（株）中村防災サービス様の特約販売店の2社が加わり、関西トーハツポンプ会に入会して頂くことになりました。

技術委員会の報告では、日ごろの販売や修理での意見が寄せられたり、技術講習会や新商品の要望もあり、貴重な情報交換の機会となりました。

収支報告や事業計画の報告の後、役員改選では、宮前会長、海老子副会長と奥村監査役の継続が決まりました。

ご多忙のなか、関西トーハツポンプ会にご出席頂き有難うございました。

（防災関西/田村）

平成26年度東北トーハツポンプ会春季総会開催



去る、4月2日（水）に「平成26年度東北トーハツポンプ会春季総会」を仙台市（江陽グランドホテル会議室）にて開催致しました。

第一部の定例総会では平間会長のご挨拶後、事務局より平成25年度事業報告並びに会計監査報告を行い、役員改選では会長・副会長は留任、監査役は櫻井監査役から氏家監査役に変更となりました。平成26年度事業計画では技術講習会及び秋季総会の開催についてご確認頂きました承され、無事に第一部を終了しました。

引き続き行われた第二部のポンプ会では平間会長、金子社長のご挨拶後、業界の近況報告並びに販売関係の報告を小山本部長及び青山本部長より行い、平成25年度ポンプ販売コンクールの最新速報をご報告致しました。

各会員の皆様からは地域状況報告に伴い活発な意見交換を行い、終了後は同ホテル内で懇親会を開催し親睦を深めた次第です。各会員の皆様大変お疲れ様でした。平成26年度も販売にご尽力頂きたく宜しくお願い申し上げます。（防災東北／中島）

新たな出発のボー研隊 「第21回世界キス釣り大会」



今年は親父の日（6月第3日曜日）ではなく4週目でした。

昨年の20回大会で多めに盛り上がり、今年は休養かねて充電期間でありましたが、お客様より大会続行の声が上がり、ボー研隊長（リトルボート販売 田原社長）も急ぎ関係各社の取り引き先に声をかけて実行の運びとなりました。

毎年、この日を心待ちにしている釣り大使が前日より大勢でキス釣り大会の聖地（小浜市鯉川）に集結しました。秋田より日本海沿いに南下して来る大使や九州から海を渡って来られる大使など、さまざまな大使がキャンプをしている様子がとても賑やかで、立ち飲み屋まで出沒する程の盛り上がりで寝るのも惜しいくらいでした。

当日は朝より小雨で霧の状況が心配でしたが、時間が経つと大雨で船内に雨が溜まって排水装置がフル回転で作動する船やバケツで排水する船が多く見受けられておりました。

その後、快晴に向かい、検寸・検量の時は汗がほとばしる位の天気となりました。

今年も尺寸を超えるキスが出ておらず、検量も減少気味でありましたが、ずぶ濡れになっても、参加者の笑顔は絶えず、とても有意義な大会であると感じられました。

参加費は無料ですが、全員にメーカー各社の協賛品やリトルボート販売様からの商品が續々と配られて、サポーターの皆様もうれしい悲鳴があちこちで上がっているように見受けられました。特にリトルファミリーの作ったおでんは、釣りで疲れたサポーターや大使の心を癒してくれる暖かい味がした手造りおでんでした。みんな食べたかな？

サッカーのワールドカップで話題になったゴミ拾いは21年間この大会でも続けられていて、釣り人の責任であると全員が自負しております。

隊長からの挨拶でも今年の大会は一番楽しく大いに盛り上がった大会であったとおっしゃっておりました。

また22回も出来る様、当社もがんばって盛り上げていきたいと思っています。

スタッフの皆様、大変お疲れ様でありましたが、次回もボー研隊&リトルファミリーと共に大会を盛り上げていきましょう。

（鯉太郎より）



災害に備えて

近年、毎年のように各地で発生している水害。この自然災害で、多くの尊い命が失われています。この被害を最小限に食い止めるべく、最前線で活動してくれているのが消防隊員の皆さんです。日頃の厳しい訓練があるからこそ、過酷な災害現場でも適切な救助活動が可能となります。



7月4日に開催されました水難救助訓練では、私たちトーハツも一緒に参加させて頂き、共に訓練を行って参りました。しかしながらこの訓練、いつもと少し様子が違うようです。実は今回、志村消防署（東京都）と戸田消防本部（埼玉県）との初めての合同訓練だったのです。生憎小雨の舞うコン

ディションでしたが、志村、戸田両消防署長より、合同訓練を行うことで、災害発生時においても迅速かつスムーズな対応を可能としたいと、今回の訓練にける熱い思いを込めて挨拶が行われ、訓練のスタートとなりました。

まずは各署の資機材の案内から始まりました。消防署が変わると、資機材の内容も異なり、インフレーターボートがあったり、アルミボートがあったりと、両消防隊員のみならずも多少困惑気味でした。その後、各資機材の簡単な取扱説明が行われ、いよいよボートを水面へ移動させ操船訓練の始まりとなりました。最初はオールを使い手漕ぎでボートの感触を掴んでいきます。徐々に慣れていくと、船外機での操船となります。最初は慣れない船外機の操作にぎこちない隊員の皆さんでしたが、徐々に感覚を掴み、終盤は見事なハンドリングで訓練をこなしていました。

訓練の締めくくりは、溺水者の救出です。水面の見える溺水者と水中探索 溺水者の2つの救出パターンで行われました。

私たちトーハツチームは、ボートで航行中溺水者を発見し、救出するというシチュエーションのもと、水面のケースを担当。溺水者に扮した消防隊員へ向かって救命浮環を投げ入れ、見事救出成功しました。

水中のケースでは溺水者を見立てた模型が使用され、潜水機材を着用した隊員が捜索に当たりました。実は今年の4月から水難救助隊が発足した戸田消防本部では、今回の訓練を心待ちにしていた様で、来たる災害に向け熱心に訓練に励んでいました。潜水から5分経過後、見事溺水者を救出し訓練も無事終了となりました。

訓練に対するこの直向きさが日頃の私たちの暮らしを支えていると思うと胸が熱くなると共に、それに使用されている船外機を製造・販売している事に携われる自分を誇りに感じる事が出来た貴重な時間となりました。

（マリン課／藤川）

マリン東北、マリン関東 新商品発表会

暦の上では立春を過ぎた2月5日（水）・6日（木）の2日間、神奈川県横浜須賀町の佐島マリーナにおいて、マリン東北、関東地域の販売店様に御参集頂き、期待のニューモデル MFS40A/50A、BFT モデルの発表会を行いました。

初日は立春を過ぎたとは思えない程の寒さの中、試乗艇のTFW-17/23R + MFS50AとTFW-25R + BFT90Aを代わる代わるに販売店様方が新エンジンの出来栄を体感しながら試乗して、試乗艇は停泊している時間が殆ど無いほどでした。

試乗して新エンジンのフィーリングを体感された販売店の方々には、皆様「力強く良い出来栄えだ！」との評価を頂きました。

その後、夕食、懇親会へと続き東北、関東の枠を超えた販売店様同士の情報交換や歓談など楽しく、有意義な時間を過ごしました。

翌日は商品説明会、及びサービス室による座学講習を行った後、無事発表会は終了となりました。

お忙しい中御参集頂いた販売店様、ご協力頂いた佐島マリーナ様、本当に有難うございました。

（マリン関東／飯島）

平成26年 トーハツポンプ特約販売店全国大会開催

全国各地のポンプ特約販売店が一堂に集う、平成26年トーハツポンプ特約販売店全国大会が去る4月17日(木)・18日(金)の両日、静岡県伊東市浮山温泉郷の坐漁荘で開催されました。

会場前ではトーハツ防災営業部員が、来場した販売店代表者の一人ひとりを心を込めて歓迎しお出迎え致しました。

金子社長の挨拶では平成23年に発生した東日本大震災から丸三年経過し、それ以降、防災、減災に対する意識が高まり、国土強靱化計画の中で具体的な政策が上げられ、また2020年に開催されます、東京オリンピックの安全確保について防災対策が発表されました。

消防防災関連商品の幅を拡大し、多様化している消防のニーズに合った機器の供給を特約販売店様と共に販売の拡大を図っていくことを誓いました。

つづいて青山防災営業部長より営業報告と、今年度は可搬ポンプ・シェアアップ、顧客満足度の向上積載車車両関係・消防用品の拡販をはじめ販売強化の営業方針などが説明されました。

次に技術部より新製品の発表が行われ、可搬ポンプの販売増を確信しているところでした。

平成25年度販売コンクールの表彰状の贈呈、その後トーハツポンプ中央会会長(逆井会長)が特約販売店の結束を願う祝辞を述べられました。

このあと、務台俊介衆議院議員を迎えて特別講演会が行われました。演題は「消防団を中核とした地域防災力の充実強化について」として、消防団の施設や装備に関する予算及び地方財政措置の内容や国土強靱化を進める上で必要不可欠なプロセス「大規模自然災害に対する脆弱性の評価について」等にも言及説明が行われました。

第2部の懇親会は九州・山口トーハツポンプ会・西銘会長による乾杯の音頭でスタート、中部トーハツポンプ会・荒木会長の万歳三唱で閉会大盛況で終了した大会でした。

特約販売店様におかれましては、遠路ご出席を賜り誠に有難うございました。

(防災営業部)



青森県三戸町消防団幹部ご一行様 駒ヶ根工場を見学



去る5月30日、青森県三戸町消防団の越後団長及び遠藤副団長以下幹部ご一行様の視察研修として駒ヶ根工場を見学頂きました。青森県三戸町は青森県南部の岩手県との県境に位置し、太平洋側気候でもあり冬季の積雪量も少なく風光明媚な町です。

当日は青森県三戸町役場を朝5:30に出発されたとの事で大変お疲れの中、遠方よりご訪問頂き誠に有難う御座いました。

今年度も可搬ポンプの更新予定があり工場内では最新の可搬ポンプに感心を示され「バスで持ち帰る」と冗談も飛び出し、有意義な工場見学となりました。

ご引率頂きました青森県三戸町役場総務課防災班の齋藤主幹様、(株)互光産業の梅内取締役様大変お疲れ様でした。今年度も宜しくお願ひ申し上げます。

(防災東北/中島)

福島県柳津町へ VFシリーズ7台を一括納入



去る3月17日に晴天の中、福島県柳津町消防団に初めてVF21B5×2台、VF53AS×4台、VF63AS×1台の4ストシリーズを7台一括納入致しました。

同町役場敷地内で行われた引渡し式典では井関町長及び目黒団長のご挨拶の後、町長より各班に管鎗が手渡され、引き続き行われた機種毎の取扱説明では低騒音や操作性に一同感心され、今後も年次計画により数台づつの更新を計画中であり、今後も宜しくお願ひ申し上げます。

販売にご尽力頂きました会津消防用品(株)佐瀬社長様及び櫻井様、大変有難う御座いました。

(防災東北/中島)

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 牧 邦治/青山 滋